第6回民生教育まちづくり常任委員会

令和6年9月30日（月）本会議休憩中

下呂市役所下呂庁舎 3-1会議室

1. 委員長挨拶
2. 市長挨拶
3. 議長挨拶
4. 付託案件

(1) 議第89号 財産の取得について（追認）

(2) 議第90号 下呂市福祉医療費助成条例の一部を改正する条例について

出席委員（7名）

委員長	中島 ゆき子	副委員長	森 哲 士
委員	桂川 融 己	委員	大西 尚 子
委員	高井 範 和	委員	鷺見 昌 己
委員	中島 達 也		

欠席委員（なし）

委員外議員

議員	下平 裕次郎	議員	桂川 いずみ
議員	加藤 久 人	議員	田口 琢 弥
議員	田中 喜 登	議員	尾里 集 務
議員	今井 政 良		

説明のため出席した者の職・氏名

市 長	山内 登	副 市 長	田口 広 宣
教 育 長	中村 好 一	総 務 部 長	野村 穰
総務部次長兼秘書課長	杉山 由 美	まちづくり推進部長	田谷 諭 志
市民保健部長	森本 千 恵	市民サービス課長	二村 和 男
市民サービス課対策監	河合 純 佳	市民サービス課課長補佐	野中 マミィ
教育委員会事務局長	山中 明 美	教育総務課長	細江 実
学校教育課長	黒木 和 実		

職務のため出席した者の職・氏名

議会事務局長 田 添 誠
議会総務課主任主査 柿ヶ野 明 広

議会総務課長 細 江 隆 義

○委員長（中島ゆき子議員）

お疲れさまです。

ただいまから第6回民生教育まちづくり常任委員会を開催いたします。

出席委員は7名で、定足数に達しており、委員会は成立しております。

なお、1番、5番、6番、8番、10番、11番、13番の議員より傍聴の申出がございましたので、これを許可いたします。

また、報道機関から取材の申出がございましたので、これを許可いたします。

市長挨拶をお願いいたします。

○市長（山内 登）

まずもちまして、議第89号につきまして、議会の議決を経ずに教師用の指導書の購入を行ったということで、市全体の責任者として心からおわびを申し上げます。大変申し訳ございませんでした。

今後、このようなことがないようにしっかりと指導してまいりたいと思っております。どうぞよろしくお願いをいたします。

○委員長（中島ゆき子議員）

ありがとうございました。

続きまして、議長挨拶をお願いいたします。

○議長（中島達也議員）

お疲れさまです。

先ほど、朝です、ね、執行部、副市長のほうから、国のほうで解散総選挙がありそうだということで、10月以内に。一応、専決処分、その件に係る経費を専決処分したいという申入れがございましたので、議長として一応了解しましたので、皆さんにお伝えします。以上です。

○委員長（中島ゆき子議員）

ありがとうございました。

それでは、ただいまから付託案件の審査に入りますが、委員の皆様の質問は簡潔明瞭にまとめていただき、再質問は2回をめぐるといたします。ただし、委員長が認めたときはこの限りではありません。これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

また、答弁につきましても簡潔明瞭をお願いいたします。

なお、当委員会の採決は、全ての付託案件審査終了後、議案ごとに行います。

議事録作成のため、必ずマイクのスイッチを入れ、赤いランプが点灯したのを確認後、役職と氏名を名のってからお願いいたします。

本日は、令和6年第6回下呂市議会定例会において、当委員会に審査を付託されました議第89号及び議第90号について審査いたします。

委員及び執行部の皆さんは、円滑な進行となりますよう御協力をお願いいたします。

初めに、議第89号 財産の取得について（追認）の説明をお願いいたします。

○教育委員会事務局長（山中明美）

まずもって、このたびは追認議案となりましたことをおわび申し上げます。大変申し訳ございませんでした。

先ほど、議場での御説明と少し重複する部分もありますけれども、私のほうからまずお話をさせていたただきたいと思います。

小・中学校の教科書は4年ごとに改訂されます。令和6年度に小学校の教科書が改訂されたため、それに併せて教師用の指導書なども更新が必要となります。教師用指導書につきましては、報道もされておりますように、議会の議決を経ることなく購入していたという事案が全国的に発生しており、今回、下呂市においても同様の事例があったということが発覚をいたしました。9月4日に報道と同様の案件がないか調査を行いまして、9月5日に顧問弁護士に相談の結果、議会での議決の必要があるということを確認いたしました。教育長、副市長、市長へ報告をしまして、9月11日、議員の皆様にもお知らせをさせていただいたところでございます。

今回の教師用指導書の購入の経緯について御説明をさせていただきますと、令和5年12月議会にて、令和6年度小学校指導用教材購入費3,188万4,000円の債務負担行為補正により議決をいただきました。その後、2月9日に物品購入伺の決裁を受け、見積り依頼をかけております。同月26日に見積り開封し、同日に単価契約を締結いたしました。指導書は4月上旬に各学校へ納品しまして、支払い日は5月31日でございます。

過去に遡りますと、令和3年度に中学校、令和2年度に小学校の教科書改訂がございまして、その際に教員用の指導書などを購入しております。そのときに比べて、教科書及び指導書のデジタル化が進んだことにより購入単価が高くなり、今回初めて2,000万円を超える契約が発生したものでございます。

教師用指導書につきましては、各教科、学年により数百円から数万円の書籍などであって、短期的に消費されることから消耗品として取り扱っており、支出科目も需用費の消耗品費から支払っております。下呂市議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第3条に、議会の議決に付さなければならない財産の取得として予定価格2,000万円以上の動産の買入れとありますが、消耗品については、議会の議決に付すべき財産の取得、動産には当たらないと認識をしていたところですが、その認識が誤っていたというところでございます。本来であれば、3月の定例会に上程すべきでしたが、議会でお諮りすることを失念したというわけではなく、動産の認識誤りにより今回の追認をお願いするに至ったものでございます。大変申し訳ございませんでした。

私からは以上でございます。詳細につきましては、教育総務課長から説明をさせていただきますので、よろしくをお願いいたします。

○教育総務課長（細江 実）

お手元の資料の2ページを御覧ください。

議会の議決を経ずに行った教科書用指導書の購入について御説明を申し上げます。

まずもって、このような形になりましておわびを申し上げます。申し訳ありませんでした。

令和6年4月に購入した小学校教師用指導書について、下呂市議会の議決に付すべき予定価格2,000万円以上の動産の買入れに該当していたにもかかわらず、議会の議決を経ずに購入していたことが判明しました。大変申し訳ありませんでした。

購入物品の概要でございます。

児童・生徒が使用する教科書は、国の教科書無償給与制度により無償で給付されますが、教師が使用する教科書及び指導書については無償給与制度の対象とならないため、市が教科書取扱店から購入をしております。今回、金山地域を除く8校分の小学校教師用指導書を2,558万8,202円で喜久屋商店から購入いたしました。随意契約による購入となったのは、この地域の教科書取扱店に指定されていることによります。

次に、発覚の経緯でございます。

全国他の自治体における同様の報道を受け、確認した結果、本市においても議会の議決を経ずに購入していたことが判明いたしました。過去10年、26年まで遡り調査した結果、本案件が初めてのことでございました。購入価格が2,000万を超えた原因は、教科書及び指導書のデジタル化が進んだことにより、購入価格が上昇したためでした。具体的には、令和2年度の改訂時の購入価格は1,438万円でしたが、今年度については430冊のデジタル教材2,168万円を購入し、購入価格が大幅に増加しております。こちらが原因となりました。

3番で、原因の分析でございます。

これまで、教科書の指導書は、教科書の改訂に伴い、約4年ごとに新しいものに交換されてきました。単価が低く、比較的短い期間で買い換えられることから消耗品とみなし、議会の議決を経る必要のない、財産でないとの認識が一般的でした。この解釈について顧問弁護士にも相談した結果、全国的な解釈の誤りであり、消耗品であっても議会の議決が必要な財産に該当することを確認しました。あわせて、今後の対応についても相談しております。

次に、4番、今後の対応でございます。

当該手続を有効なものとするため、本日、買入れの追認を求める議案を提出し、御審査をいただいているところでございます。

次に、再発防止です。

契約手続の厳格化としまして、物品単価契約システムにおいて、予定価格が2,000万円以上の契約は赤字表示で注意喚起を行います。また、購入伺い書に議会の議決が必要か否かの確認欄を設けます。担当者から決裁者まで全ての段階で必ずチェックをいたします。

次に、予算編成時のチェック体制の構築です。

議決が必要な動産に関する認識を職員で共有し、予算編成の段階から議会の議決が必要か否かを厳格にチェックいたします。

説明は以上でございます。このたびは本当に申し訳ありませんでした。御審査のほどよろしく
お願いいたします。

○委員長（中島ゆき子議員）

ただいま議第89号について説明をいただきました。

質疑を行います。

質疑はありませんか。

○委員（桂川融己議員）

説明ありがとうございます。

令和2年なんで、4年前ですかね、1,400万ということで、大きく上がったということも一つの
原因ということですが、再発防止策のほうで、この物品単価契約システムの予定価格が2,000
万円以上の契約はという、こういったような話がありますが、こちらに関しては、消耗品という
ものに関しても同じように2,000万円を超えればアラートが出るというか、そういったような仕
組みだったり、そういったような改定ということなんでしょうか。今後の再発防止策だとか、今
後の対策というところに関して、もう少し詳細に伺えればと思います。

○まちづくり推進部長（田谷諭志）

御質問の再発防止策について、私のほうからお答えをさせていただきます。

現在、この物品単価契約の手続を補完するために、内部においてエクセルでこの物品単価契約
システムというものを活用しております。今回の事案の発生を受けて、再発防止策として実施を
いたしましたのは2点でございます。

1つが、予定価格が2,000万円以上の場合、その場合については、予定価格を入力したその直
下に赤字にて議会の議決が必要なものですということで、アラートが表示されるようにいたしま
した。

そして、2点目として、この購入伺い書が同時に作成をされるわけなんですけれども、こちら
の伺い書には、議会の議決が必要か否かということで、必要な場合は議会の議決が必要、不要の
場合は不要というような形で表示をさせていただき、そういった意味では担当者から決裁者まで
全ての者がこの起案書を目を通し、議決が必要か否かというところを確認ができるようにしたと
いうことでの再発防止となっておりますので、よろしく申し上げます。以上でございます。

○委員（桂川融己議員）

回答のほうをいただきありがとうございます。

今、したというような話ですので、既に対応済みというような認識でよろしいんでしょうかと
いうことだけ確認させてください。

○まちづくり推進部長（田谷諭志）

既に改修を完了しておりますので、今申し上げたとおりの形での運用となります。

また、先ほど科目についてもチェックができるのかという御質問もございましたので、その点
もお答えをさせていただきますが、消耗品であれ、単価契約の対象については全てこのアラート

等の表示がされるということでございます。以上です。

○委員長（中島ゆき子議員）

ほかにございませんか。

○委員（中島達也議員）

ちょっと随契のことについて、私ごとで恐縮ですが、ここの喜久屋さん、中川さん、おじいちゃんの時代からですね、昭和34年に初めて教科書を受け取ったという覚えがありますが、3代にわたってずっとそういうお付き合いをさせてもらっていますが、今のお話だと随意契約、それは問題ないんですが、市内の業者であることから、ほかには市内にもそういった扱い店がないのか。

それから、前回の説明では、外ですね、市外の業者さんをお願いしておると、そういう決まりになっている、制度になっているということなんですが、やはり今はどこの商店街も非常に厳しくですね、やっぱりお金を外へ出さないということを考えていかないかん以上は、変えられるもんであれば、そういった制度もやっぱり撤廃していくというようなことも大事ではないかなと思いますので、非常にハードルも高いんでしょうけど、ちょっとその辺の考え方をお願いします。

○教育総務課長（細江 実）

今の御質問に対して御回答させていただきます。

教科書の供給につきましては、文部科学省の教科書の制度というようなところに、教科書を安定に供給するというような制度がございます。教科書を各学校まで安定に供給する義務が発行者に課されておりまして、その発行者と教科書供給業者が締結をし、教科書、指導書を安定的に各学校にお配りするような形になっております。

岐阜県においては、教科書供給業者、岐阜県共販株式会社というのが1社のみでございます。そちらの会社が、この下呂市において教科書を安定的に事業者が供給できるような体制を整えるために、金山地区を除く地域については喜久屋商店さん、金山地域においては佐藤商店さんというようなところで、教科書供給制度の仕組みにのっとり、全国に53ある教科書販売供給業者、岐阜県には1社のみでございますが、そちらが安定供給をできるような形で事業所を指定しているようなところで、今こういった形で購入をしているような形になっております。説明は以上でございます。

○委員（中島達也議員）

ありがとうございました。

よく分かりました。よく分かったんですけど、今後、やっぱり古い一つの制度だと思いますので、市長や教育長におかれましては、今後そういった制度を撤廃していくような、やっぱり市内でお金が回るようなことも一つ考えていただけないかと思います。非常に難しい課題かと思いますが、お願いします。

○教育長（中村好一）

一応、これは文部省から決まっていることですが、教科書、これは指導書ということになりますので、また要望ということで上げることはできると思います。そのような方向を考えな

がら動いていこうと思っています。よろしくをお願いします。

○委員長（中島ゆき子議員）

ありがとうございました。

ほかにございませんか。

○委員（高井範和議員）

物品単価契約システムについてお伺いします。

先ほど、2番議員の返答にあったかもしれませんが、これは全部門、部署で使うものなのか、全項目で使うものか、あるいは使いたい人だけ、科目だけ、このシステムで確認するという仕組みなのか、そこの運用、先ほど答弁があったかもしれませんが、もう一度お願いします。

○まちづくり推進部長（田谷諭志）

このシステムについては、全部門で活用をさせていただいております。そして、物品単価契約を行う際に、これを補完するシステムとして活用させていただいておりますので、科目とかそういったことを関係なく、全ての物品単価契約においてこのシステムを活用しているということをお願いいたします。以上です。

○委員長（中島ゆき子議員）

よろしいですか。

ほかに質疑はありませんか。

[挙手する者なし]

ないようですので、以上で議第89号についての質疑を打ち切ります。

すみません、ここで先ほど間違えておりましたので、訂正をさせていただきます。

令和6年度第6回下呂市議会定例会において当委員会に審査を付託されましたと申しましたが、正式は、令和6年第5回下呂市議会定例会において当委員会に審査を付託されましたということです。訂正させていただきます。失礼いたしました。

それでは、続きまして、議第90号 下呂市福祉医療費助成条例の一部を改正する条例について説明をお願いいたします。

○市民サービス課長（二村和男）

議案書の2ページをお願いします。

議第90号 下呂市福祉医療費助成条例の一部を改正する条例について。

下呂市福祉医療費助成条例の一部を改正する条例を別紙のとおり定める。令和6年9月30日提出。

提案理由ですが、児童扶養手当法施行令及び特別児童扶養手当等の支給に関する法律施行令の一部を改正する政令の公布に伴い、当該条例の一部を改正するものです。

詳細につきましては、条例要綱で説明しますので、6ページをお願いします。

改正理由は、提案理由と同じですので概要から説明します。

(1)政府による異次元の少子化対策の支援策として、ひとり親世帯などに支給する児童扶養手

当を拡充するため児童扶養手当法施行令が改正され、それに伴い児童扶養手当法施行令に条項の
ずれが生じたことにより関係条文を改めるものです。第2条関係です。

(2)この条例は、令和6年11月1日から施行します。附則関係です。

説明は以上です。御審査のほどよろしくお願いいたします。

○委員長（中島ゆき子議員）

ただいま議第90号について説明をいただきました。

質疑を行います。

質疑はありませんか。

[挙手する者なし]

ないようですので、以上で議第90号についての質疑を打ち切ります。

当委員会に審査を付託されました議第89号及び第90号について討論を行います。

まず、原案に反対者の発言を許可いたします。

[挙手する者なし]

次に、原案に賛成者の発言を許可いたします。

[挙手する者なし]

ほかに討論はありませんか。

[挙手する者なし]

以上で、議第89号及び議第90号について討論を打ち切ります。

当委員会に審査を付託されました議案について審査が終了しましたので、ただいまから採決
を行います。

議第89号 財産の取得について（追認）、本件を原案のとおり決することに賛成の方は挙手願
います。

[賛成者挙手]

挙手全員であります。よって、議第89号については、全会一致で可決すべきものに決しました。

議第90号 下呂市福祉医療費助成条例の一部を改正する条例について、本件を原案のとおり決
することに賛成の方は挙手願います。

[賛成者挙手]

挙手全員であります。よって、第90号については、全会一致で可決すべきものに決しました。

以上で、当委員会に審査を付託されました議案の審査を終了します。

午前10時51分 終了